

# 福寿うちなく健康宣言

全国健康保険協会沖縄支部協会けんぽ

企画総務部長 玉城雅人

当支部は、医療保険の保険者として県内の中小企業約2万社、約56万人の加入者の皆様の健康増進を図るため、さまざまな活動により皆様の健康づくりを行っています。

昨今、健康に関するデータ等を見ると沖縄県の働き盛り世代の健康状態は芳しくありません。県男性の35歳から59歳までの5歳刻み

での年齢階級別の死亡率は、それぞれ2位から5位と総じて高くなっています。60歳以降の各世代の死亡率が全国平均よりはるかに低いのは対照的な状況です。沖縄の健康は、職場の中心であり家庭の大黒柱でもある世代の死亡率が高いことが大きな課題です。

この課題について、当支部は健診の受診を促し、保健指導などにより加入者の皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただいています。また、治療が必要な方には、病院への受診の勧奨も積極的に重い重傷化を食い止めるよう取り組んでいます。

しかし、「受診したいんだけど仕事が忙しくて時間が無い」などの理由で健診を受けない方や自覚症状がないため、治療を受けない方も多くいます。そういった課題に取り組むために当支部では「福寿うちなく健康宣言」を実施しています。これは、事業主様に「理解いただき、健康宣言をすること、当支部のサポートを受けながら従業員の健康づくりをしていく」

当支部のサポートとしては、従業員の方の健診結果を集計した「事業所健康度診断結果」により、沖縄県の事業所の平均と比べて自分の会社の健康度はどうなのか、どこが悪いのか、改善するためにはどうしたらいいのかなどのご相談やフードモデルをお貸しして、職場で期間展示することによる従業員の健康への意識づけ、プチ体力測定の実施、健康講話、ニュースレターによる情報提供などさまざまな取り組みでサポートしていきます。

最近では、国を挙げて健康問題に取り組んでいることという気運があり、経済産業省が、昨年より「健康経営優良法人認定制度」を開始し、特に優良な健康経営を実施している法人を顕彰しています。この制度へ申請するには、協会けんぽなど、所属する医療保険者の健康宣言に登録していることとなっていることもあり、多くの事業主の皆様が「福寿うちなく健康宣言」に登録し、当支部と共に従業員の健康増進を図っていただきますようお願いいたします。

「Let's健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体が『沖縄県の長寿復活に関する記事』を投稿しています。



けんぞう君  
沖縄県民の健康を増進するため一緒に頑張るキャラクターです